



TOKACHINO
と ち 野

野

OBIHIRO KOSEI HOSPITAL

帯広厚生病院広報誌

2023.7
Vol. 72

ご自由にお持ち帰り下さい。

特集

救命救急センター



CONTENTS

特集	救命救急センター	02
検査でわかること	生検(せいけん)ってどんな検査?	06
うんどうあどばいす	指回し体操の効果について	07
	十勝の農作物の魅力をお伝えしています!	08
	看護の日「高校生ふれあい看護体験」感想文	09
	HOSPITAL INFORMATION	11

帯広厚生病院の最新情報は、ホームページ、SNSをチェック!!



帯広厚生病院
ホームページ



帯広厚生病院
公式 Facebook



帯広厚生病院
公式 Instagram



帯広厚生病院
YouTube
チャンネル



帯広厚生病院
臨床研修センター
ブログ

帯広厚生病院 救命救急センター

当院救命救急センターは1999年5月にスタートしました。救急科は2016年に各科兼任医師による体制をスタートし、DMATチーム(災害医療支援チーム)の登録や施設の拡充、バス事故やブラックアウトの経験、COVID-19への対応を救命救急科・病院をあげて行ってきました。

2022年より救急診療のみに従事する専従医師5名による救急科が開始されました。

当院救命救急センター設立以降の救急関連沿革

1999年 5月	救命救急センター設置
2007年	救命救急センターに併設した血管造影室とCT設置 (IVR-CT)
2008年	第1回 病院災害訓練実施
2010年	日本DMATチーム編成登録
2011年	東日本大震災医療救護班派遣 (4月、5月)
2016年	各科医師兼任による救急科設置
2017年	清水町大型バス横転事故対応
2018年	北海道胆振東部地震 北海道全域のブラックアウト発生
11月	新病院へ移転 とかち広域消防局 ワークステーション併設
2019年 4月 11月	札幌医科大学 救急医学講座より定期的な医師派遣開始 北海道ブロックDMAT実動訓練実施
2020年 2月 9月	新型コロナウイルス感染症第6波による高齢者福祉施設、障がい者施設でのクラスター対応としてCovidJMAT活動に医師派遣 内閣府大規模地震時医療活動訓練 当院机上訓練
2022年 4月	札幌医科大学救急医学講座より4名の救急医派遣 5名の専従医による救急科運用開始

救急医療のしくみ

救急外来を受診するか、救急車で搬送された場合は、大まかに3つの重症度に分類されます。

一次救急
診察後に帰宅可能となる
二次救急
入院や手術が必要
三次救急
複数の診療領域にわたる 命に関わる重篤な病態

自家用車での受診は一次救急とされ、救急隊の判断で二次救急または三次救急とされますが、病態や診察結果、時間経過によって重症度は変化します。また、一つの症状ではどのような領域の疾患かわからないことが多く、たとえば意識障害であっても脳卒中だけでなく、重篤な糖尿病や心臓の問題、薬物による影響によって引き起こされることもあります。救急専従医はこれらすべての病態に対応し、診察と安定化を行った後に各専門科と協力して迅速な治療につなげていきます。また、複数の領域にわたる重症病態では治療の方法や手順も複雑化し、複数の専門医と協力して適切な治療を提供し、心肺停止や呼吸不全など特定の領域では集中治療も担当しています。

令和4年度より専従医5名体制



- ・救急専門医 (3名)
- ・外科専門医/消化器外科専門医(1名)
- ・集中治療専門医 (2名)
- ・呼吸療法専門医 (2名)
- ・Acute Care Surgery認定外科医 (1名)
- ・日本DMAT隊員 (2名)
- ・災害医療コーディネーター(2名)

現在の救急科は専従医5名体制で運営しています。突然の外傷や急病などに対応する救急専門医、集中治療室や重症患者の治療を行う集中治療専門医、外傷や急性腹症を治療する救急外科医、呼吸不全に特化した呼吸療法専門医をはじめ、当院や十勝地域のみならず北海道、日本全国規模の広域災害に準備や訓練を行い、支援活動、医療活動を行うDMAT隊員、災害医療コーディネーターなどの資格を取得しています。

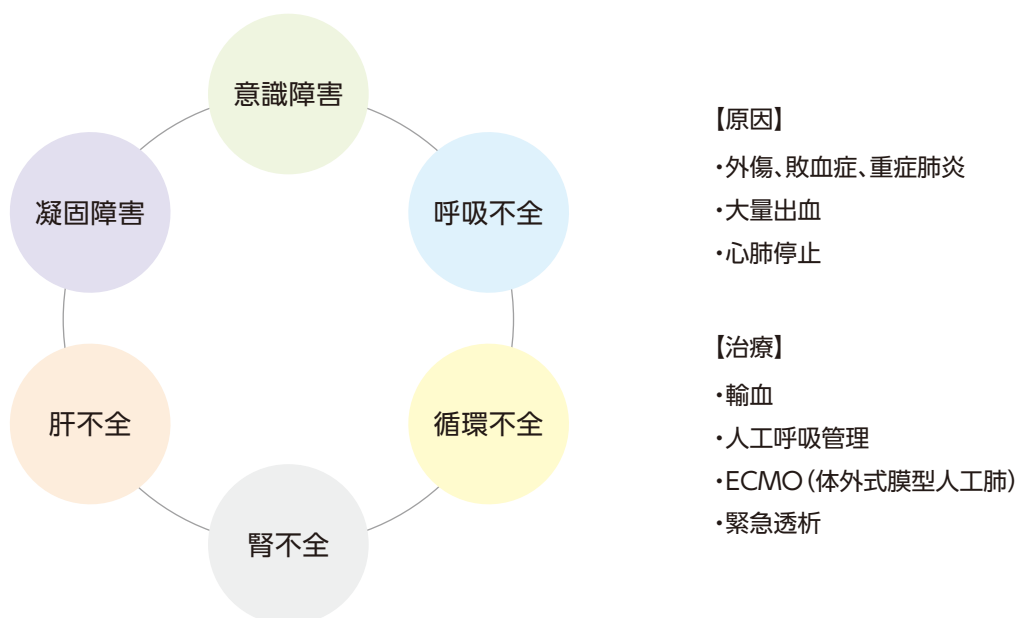
2021年までは、各医師が交代制で救急患者の診察にあたっていました。このため、日中は業務の間に救急診療を行い、当直明けに外来・検査・手術に従事する必要がありました。このような問題は全国的に存在し、良質で適切な医療提供のためには、医師の長時間労働を防ぐ必要があり、厚生労働省より「医師の働き方改革」が推進されました。2022年度からは、日中と2次輪番の救急車が多く来院する時間帯は救急科が対応し、必要に応じて専門医と相談し早期の治療に繋がります。このように、救急科は夜間業務や各専門科医師の過剰業務を軽減することでも、病院全体の医療の質の向上に貢献しています。

集中治療

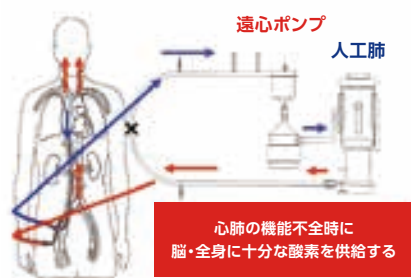
集中治療とはさまざまな臓器不全や多臓器不全を発生している重症患者の全身管理とケア、また命をつなぎとめるための高度な知識と技術を要する医療です。

臓器不全とは大きく6つ(意識障害・呼吸不全・循環不全・腎不全・肝不全・凝固障害)に分類することができます。様々な原因により、生命維持に影響を及ぼすほど臓器が機能しなくなる状態です。それぞれに対する治療として、昇圧薬から輸血、機械による人工呼吸、ECMO(体外式膜型人工肺)や持続型の人工透析などがあります。これらの臓器不全は、呼吸が悪くなると意識が悪くなる、循環が悪くなると腎臓が悪くなるというようにお互いに影響しているため、全体像を掴みながら治療を組み立てる必要があります。

集中治療室(ICU)とは、臓器不全を起こした患者さまのために濃密な診療体制とモニタリング用機器、また生命維持装置などの高度な診療機器を整備した診療空間をいいます。当院では18床の集中治療室を有し、救急科では2人の集中治療専門医が診療に関わっています。

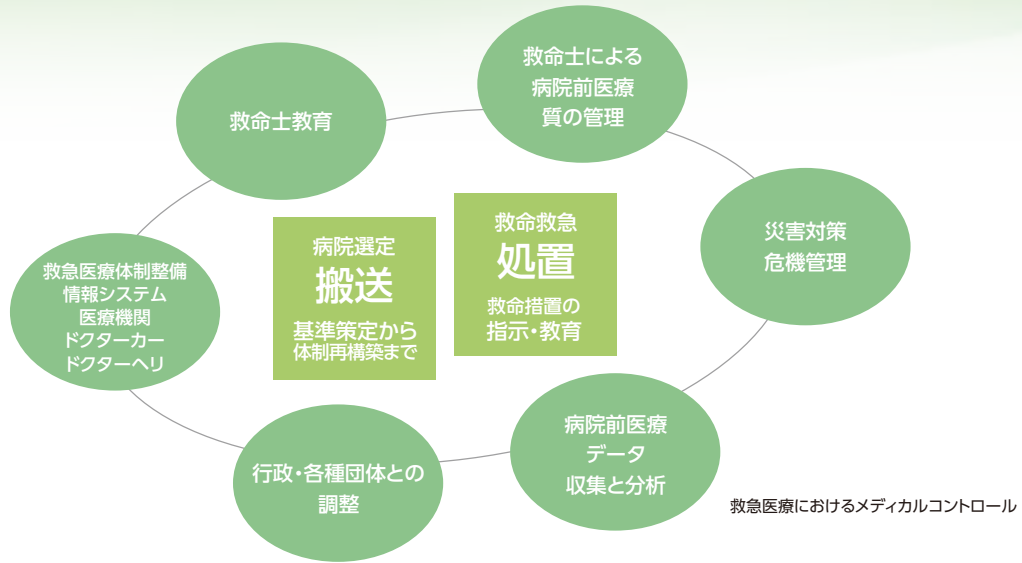


ECMOの原理



ECMOは一定の条件下で、心臓を原因とする心肺停止状態やCOVID-19などの重症呼吸不全に使用されます。救急科の医師の派遣元である札幌医科大学 高度救命センターでは、北海道のECMO管理が必要となる患者さんを一手に引き受けてきました。

当院で管理困難となる場合でも札幌医科大学 高度救命センターと連携して、治療のための搬送を調整します。



病院前医療というとドクターカーやドクターヘリを連想されることが多いかもしれませんが、それは病院前医療の一部です。病院前医療は救命士による救急救命処置から病院搬送体制の構築まで、日夜救急搬送に従事されている消防・救急隊と連携し、情報管理、体制構築に参画し、現場で行われる処置を指示し、検証、教育を行います。このことをメディカルコントロールと呼びます。救急科は救命士教育、救命救急処置の検証、教育を通して、このメディカルコントロールに関与します。

病院前医療の救急医療体制を整備して、住民のみなさまの健康の危機に一刻も早く対応できるように努めます。

災害医療

災害医療も救急科の大きな仕事の一つです。これまで十勝では度々災害に見舞われ、病院としてあるいは病院から派遣されるDMATとして、その対応を行ってきました。現在救急科ではDMAT隊員3名、そのうちDMATを指揮統制する統括DMAT2名、訓練と教育に関わるDMATインストラクター1名が在籍しています。今後、道東に大きな被害をもたらす千島・日本海溝巨大地震を含む来る災害に対して、医療体制、地域連携などの準備を続けます。

2017年 清水バス横転事故

- ・ 院内の救急医療体制を急遽変更し、多数傷病者に対応

2018年 北海道ブラックアウト

- ・ 自家発電で診療し、十勝管内の重症の救急患者をすべて引き受けて治療
- ・ 多数の病院が被災した札幌圏へDMATを派遣

2020年～ COVID-19

- ・ DMATとして、高齢者施設クラスターに対して感染対策、孤立した入所者の診療など
- ・ 2022年からは重症COVID-19肺炎を担当し、人工呼吸器・ECMOによる治療
- ・ 札幌医大救命センターと連携し、札幌へ重症患者の転院搬送

検査でわかること



生検(せいけん)ってどんな検査?

「生検」とは、内視鏡や局所麻酔で採取された小さい組織(以下、生検組織)を、顕微鏡などで調べ、病変を正確に診断する検査で、良性か悪性だけでなく、炎症や代謝性の病変等も含めて、病理診断科の病理専門医が「病理診断」としての結果を報告いたします。

生検の病理診断までの流れ

各診療科で採取された生検組織は、依頼書とともに病理検査室に提出されます。
生検組織はパラフィンブロック^{図1)}にされ、約3 μ m(0.003mm)の薄さでスライス^{図2)}(薄切)されます。



図1)特殊な工程(固定→脱水→包埋)を経て、ロウ状の物資でブロックにされます。



図2)ブロックごと、破れないように生検組織を慎重に薄切します。

薄切された生検組織は、スライドガラスに貼り付けられ、染色後、病理標本^{図3)}となります。
病理標本は、病理専門医が顕微鏡で観察^{図4)}して、病理診断を行います。



図3)病理標本(HE染色)
HE(ヘマトキシリン・エオジン)染色

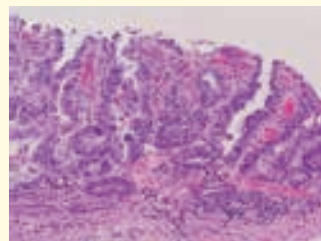


図4)胃がんの顕微鏡写真(HE染色)

また、「がんの種類や原発部位の検索」や「治療薬適応の有無(がん遺伝子検査等)」のため、特殊染色や免疫組織化学等の追加染色が実施されることもあります。

病理検査は、「組織診」・「細胞診」・「病理解剖」の3つの分野からなります。
今回は組織診の一部である生検組織の病理診断までのながれについて、
大まかに説明させていただきました。

～理学・作業療法技術科～ 指回し体操の効果について

1 指回し運動とは

近年、空間認知兼姿勢制御運動を特徴とする簡便な健康法として指回し体操が注目を浴びています。栗田らは、2020年に指回し体操を用いる健康法の多様な効果について調査しており、運動系、自律系、感情・情緒系、感覚系、認知・言語系、代謝系といった心身を総合的に高めて健康を促進する上で有用と思われると述べています¹⁾。特に高齢者の健康寿命を促進する手法としても有意義であるとも述べられている指回し運動について紹介させていただきます。

2 体操・運動方法

- ① 両手の五本の指先を合わせて、ふっくらとしたドームの形を作る。
- ▼
- ② 親指から始め、それぞれの指の対を、互いに触れ合わないよう回す。
- ▼
- ③ 回す方向は、右手の人さし指の先が根本から見て時計方向に回るのが右回しと呼ぶ。最初は「右回し」を基本として練習する。慣れたら「左回し」も自由に行ってよい。
- ▼
- ④ 各指の対は最低20回回す。



ここで、指が互いに触れ合わないよう回すという規則は本質的に重要です。それによって脳の空間認知の領域を活性化すること、姿勢制御系を刺激することを目的としています。

この動きは進化の過程で蓄積されたさまざまなレベルの運動系の賦活につながります。当初は、中指と薬指を触れ合わないで回すことは困難に感じる方が多いですが、これを克服する過程でよい効果を得ることができます。

【参考文献】

- 1) 栗田昌裕 指回し体操を用いる健康法の多様な効果 J.Intl.Soc.Life Info.Sci. Vol.38, No.1, March 2020



十勝の農作物の魅力を お伝えしています!



十勝の代表的な4つの農作物について、栄養成分や料理レシピを紹介する動画を、帯広厚生病院公式YouTubeで公開しています。現在、第1弾の「じゃがいも」、第2弾の「小豆」の動画を公開中です。ぜひご覧ください。

第1弾 じゃがいも



注目ポイント①ビタミンCが豊富
じゃがいものビタミンCは、加熱調理による損失が少なく、電子レンジ調理ではお断り度低いです。

じゃがいもの皮 (10g)	＝	みかんの皮 (10g)
電子レンジ調理したじゃがいも (10g)	＝	じゃがいもの皮 (10g)

じゃがいもに含まれる栄養素の特徴を紹介

じゃがいもの料理レシピや献立を提案

献立のヒント

- じゃがいもの トマトソース焼き
- 白身魚の白ワイン煮
- 白身の豆乳スープ

※、調理法は動画でご確認ください

動画はこちらからご覧ください



第2弾 小豆



全国の生産量の70.3%を占める、十勝の小豆。体に良い栄養成分が豊富

注目の栄養素

- ① 食物繊維
- ② 鉄分
- ③ カリウム
- ④ ビタミンB群
- ⑤ ポリフェノール

小豆の栄養素の説明

食生活への手軽な取り入れかたの提案

～小豆を手軽に 食生活に取り入れよう～

保温がたんを飲って、後で小豆を作ってみよう!

★用意するもの★

- 容量500mLの保温ボトル
- 小豆(乾燥)30g
- 熱湯450mL

動画はこちらからご覧ください



第3弾「てん菜」、第4弾「小麦」の動画は、ただいま公開準備中です。お楽しみに!





令和5年度

看護の日「高校生ふれあい看護体験」感想文



お忙しい中、体験させて頂きありがとうございました。実際に働いている様子を見て看護師になりたいという気持ちが強まりました。看護師さんがおっしゃっていた事で、退院した後を考える事も大切にすると話していた通り、患者さんと接する中で退院したら食事の内容「～しましょうね」等、コミュニケーションを通じて退院した後の生活に気を遣う姿がとても印象に残りました。

患者さんも様々な方がいて、一人一人に合った話し方や看護をしていたり、日常の会話から体調の変化を伺ったりしていて、自分もそんな風になれたらいいなと思いました。今回の体験を心に留めて看護師になるために、今後の勉強を頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。

私は手浴と足浴を体験させてもらった。実際に患者さんの手足に触ってみて、最初緊張したし、力加減もわからなくて、怖かったけど、看護師さんが声をかけてくれて教えてくださって、最後は患者さんに「ありがとうございました」と言ってもらえて嬉しかった。手浴足浴は患者さんの皮膚の乾燥を防ぎ、感染予防にもつながると教えてもらった。ただ患者さんを清潔にするだけではなく、一つのことをやって、2、3のメリットがある看護の仕事に感動した。患者さんの体調に合わせて、治療を決めたり、患者さんとのコミュニケーションで敬語だけではなく、その人に合ったコミュニケーションをする看護師さんが凄いなと思った。

内科は体調が悪くなる患者さんが多く、患者さんの家族と連携して、目標を決めて、逆算して治療して、最後「人生がつかった」ではなく、「楽しかった」にできるようにする考えも感動した。

私もそんな看護師になりたいと今回思った。

ずっと体験に来たいと思っていたので、今日来られたことが、凄く嬉しかったです。脳神経外科って、主に介護面の仕事なのだろうなと結構簡単に捉えていたのですが、全然そうじゃなくて、常に患者さんとコミュニケーションをとり、細かいところまでの気遣いとか、沢山あって、本当にすごい仕事だなと痛感しました。正直、朝から晩までずっとこの仕事内容をするとなると、精神面も体力面も、もたなそうで、自分にできるのかな?と不安になる時がありました。けど、看護師さんと話をしてみても、辛いこと以上にやりがいがあることを知って、やっぱりこの仕事がいいなと改めて思えました。

私は、今日3人の患者さんに会って、色々なことを学べたし、特に〇〇さんが笑ってくれたことが嬉しかったです。本当にありがとうございました。



看護師を目指す高校生の方々が、看護の日の看護師体験について書かれた感想文です。このイベントは、数年見送られましたが、毎年看護の日の一環として行われています。



今回の看護体験で、足浴、血圧、体重の見学をさせていただきました。足浴では、患者さんの足を洗っているときに、沢山「気持ちいい?大丈夫?」など、聞いたりして気を使っている姿を目に焼き付ける事が出来ました。血圧、体重の測定と体調確認に同伴した際、看護師の方の話し方、声量、速度を患者さんの状態に合わせていたり、初めて会う患者さんの状態を把握していて、今はどんな感じか、辛くないか、他に気になるところがないかを見ていたり、看護師同士で患者さんを共有されていて、自分が患者になった気持ちになると安心するし、任せられると感じました。

今日で「看護師」という仕事を肌で感じ将来の自分の姿を想像することができました。お忙しい中、本当にありがとうございました!!

本日は、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。私にとって病院内で実際に看護師さんの仕事を見せて頂くのは初めてのことで、とても緊張しました。看護師さんが指を洗っている様子を見せて頂き、何より患者さんが気持ちよさそうな顔をしていたのを見て、私も嬉しかったです。看護師さんは患者さんの笑顔の為に仕事しているのではないかと感じました。

高校生のうちに、看護師になるために今からできる事を聞いたところ、今思っている看護師になりたいきっかけだったり、本日のような体験を大事にしておいた方がいいとアドバイスを頂き、将来の夢である「看護師」になるために、より一層頑張りたいと思いました。

本日はお忙しい中本当にありがとうございました。

今回患者さんへの対応を、体験、見学させていただいて、普段寝たきりであまり表情を変えない方が、笑顔を見せてくれたり、手を合わせて「ありがとう」と言ってくれたりしている場を近くで見させていただいた際に、医療は本当にやりがいのある素敵な仕事だと改めて実感しました。また、看護師の方が、患者さんの気分を明るくするようなポジティブな言葉をかけたり、お話ができない方が相手でも、あらゆる方法でコミュニケーションをとり、患者さんの心境を読み取れるよう努めたりしている姿から、教科書だけではなかなか学ぶことが出来ない「看護」において、大切な部分を沢山吸収することが出来ました。

今日の体験で、より看護師を目指したいという気持ちが強くなりました。本日は、本当にありがとうございました。



とち野 Vol.72 アンケート

より良い広報紙づくりのため、皆さんの意見をお聞かせください。
アンケートのご回答者全員の中から抽選で5名さまに記念品(JA配置薬セット)を進呈いたします。
尚、当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。
入力いただいたアンケートや個人情報は、企画の参考、記念品の発送以外には使用いたしません。

スマートフォン等でQRコードを
読み取りアンケートに
ご協力ください



JA配置薬セット ※内容は予告なく変更になる場合があります。



帯広厚生病院臨床研修にかかわるご協力依頼

当院は臨床研修指定病院・公的医療機関のため、医師をはじめとして様々な医療職・学生の臨床研修を受け入れております。当院をご利用される皆様には病院の使命をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

病院長

帯広厚生病院卒後臨床研修理念

信頼され選ばれる医療人になるための礎づくり

私たちは

常に **他職種共働**

地域の特性

時代の要請 に配慮し

住民の健康を守ることのできる医師を養成します



JA 北海道厚生連の理念

JA 北海道厚生連は、組合員および地域住民の皆様の生命と健康を守り、生きがいのある地域づくりに貢献してまいります

基本方針

医療連携を深め、地域医療と救急医療の充実に努めます
職員教育・研修を推進し、医療水準の向上に努めます
患者さまが満足する療養環境と職員が誇れる職場環境を目指します

病院理念

最も信頼され選ばれる病院づくりを目指します
地域の求める 医療連携を考えた病院づくり
わかりやすい 質の高い 患者さまの立場に配慮した医療
患者さまへの気配りのある環境づくり 温もりのある医療

患者さまの権利と責任

人権の尊重と、プライバシーが守られて治療を受ける権利
自分の病気や治療内容について、十分な説明を受ける権利
治療を選択する権利と、同意できない診療を拒否する権利
病院の規則を守り、他の患者さまの治療を妨げない責任